

社会資本総合整備計画

きたじま ちく だい き とし さいせいせい びけいかく
北島地区(第2期)都市再生整備計画

平成26年2月28日
徳島県北島町

都市再生整備計画

きたじま
北島地区(第2期)

とくしま きたじまちょう
徳島県 北島町

平成26年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	徳島県	市町村名	北島町	地区名	北島地区(第2期)	面積	877 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

大目標:安心・安全で快適なまちづくりの創出。

目標1	住民の避難所耐震化や緊急車両の迅速な活動経路の確保による 防災力の向上を図る。
目標2	台風や集中豪雨による浸水被害の解消に向け、排水施設の整備による安全な生活環境の向上を図る。
目標3	

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

北島町は、徳島県の北東部、吉野川下流に発達した三角州のほぼ中央部に位置しております。町域面積は8.77km²、人口約2万2千人の町であり、地形は、西高東低で山はなく、周囲を旧吉野川、今切川、鍋川の3つの河川に囲まれ、今切川流域一帯は、県下有数の工業地帯となっております。また、徳島市や鳴門市の近郊という立地条件から住宅都市として発展し、人口密度は県下で一番高く、現在も人口は増加しております。さらに大規模小売店舗の進出による商業都市としての発展も進んでいます。

平成19年度より、「北島地区都市再生整備計画」を策定し、住民避難所の耐震化・緊急車両の迅速な活動経路の確保・浸水害の解消による生活環境の向上及び交流拠点施設の整備を目標として5ヶ年の整備を進めてまいりました。事後評価時における住民の意識調査の結果は、東日本大震災の影響もあり、更なる防災力の強化、排水施設の整備等を求めるものとなっており、引き続き継続した事業の推進を図る必要があるものと考えられます。

吉野川河口付近に位置する北島町は、上層砂層に厚さ20～27mの沖積層があり、この下の粘土層は細砂及びシルト混じりで、厚さ5～10mの鮮新層となっております。さらに下では砂礫層(主に河川によって上流から運搬堆積された黄褐色の特徴ある礫)等、堆積厚さ30～35mの更新層・礫混じりの粘土層の地下かん水層で形成されています。さらに、中央構造線の南方約5kmの位置にあり、内陸型地震時には相当の被害を受けることが予想されております。

また、河川に囲まれた地形から、従来より内水排除を排水ポンプで行っておりますが、近年降雨量が増加傾向にあり、5年確率で63mm/hr、10年確率で75mm/hrとなっております。平成23年9月には台風15号の襲来を受け、時間雨量63.5mm/hr、日雨量429.5mm/dayの豪雨に見舞われ、多くの床上・床下浸水被害が発生し、平成25年9月にも最大256mm/dayの雨量を記録するなど、同月に2度の浸水被害を受けております。今後も都市化による遊水地としての農地の急速な減少により、降雨の流出係数がさらに高くなり、内水氾濫の危険性が高くなると予測されます。

課題

本町では、南海トラフ巨大地震の発生が危惧され、これらの地震に対する防災対策が喫緊の課題となっております。また、東日本大震災を受けて、徳島県が平成24年度に公表した「徳島県津波浸水想定」によりますと、本町においても最大4m程度の浸水が予測され、津波に対する対策も急を要していることから、減災のための緊急時一時避難場所及び避難所の収容人数拡大が喫緊の課題であります。

平成23年9月には、台風15号の豪雨を受け多くの床上・床下浸水被害が生じたことから、平成24年度「北島町内水氾濫解析委託業務」を実施し、町内における内水排除施設の現況把握及び問題点の洗い出しを実施いたしました。解析結果では、5年確率(63mm/hr)の降雨時において広範囲の内水氾濫が予測されており、住宅の床上・床下浸水及び幹線道路の冠水が発生するとされております。近年の都市化に伴う水路の容量不足や老朽化、内水排除施設の能力不足の解消が緊急の課題となっており、より円滑な内水排除や緊急車両通行のため幹線道路の冠水解消が急務となっております。

将来ビジョン(中長期)

北島町では、『豊かさあふれる住宅都市 ー未来のきたじまー』を基本理念に、“快適な環境を創る”“安心で心地よい”等を将来像と位置づけ、便利さとゆとりある都市基盤と快適でうるおいある住宅環境の整備、衛生環境の改善・向上に取り組み、心地よい生活環境をめざすとともに災害や事故・犯罪に対して、共に助け合う安心・安全なまちづくりをめざします。

第4次振興計画の重点プロジェクトとして「防災まちづくり」を目標に、計画の主要施策として【防災都市づくりの推進】における「緊急車両の円滑な通行を可能にする道路整備、避難場所や避難経路の確保、避難場所の耐震化」・【下水道整備】における「都市下水路、ポンプ施設の排水能力調査を実施、これに基づく計画的な改修及び維持管理」が掲げられております。

また、本町では平成24年度・平成25年度に北島町地域防災計画の見直しを行っており、今回計画で整備予定の町民体育センター及び各集会所の避難所指定を行う予定とし、地震、津波及び水害等に強いまちづくりの整備に取り組むこととしております。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目 標 値	
				基準年度	目標年度	
防災環境の満足度	%	町民の防災環境に対する満足度(アンケートによる)	避難所や内水排除施設等の防災施設整備を行い、本町における町民の防災環境満足度を向上させる。	42	平成24年度	50 平成30年
避難所収容人数	%	人口に対する耐震化された避難所の収容人員率	耐震化された避難所の収容人数を増加させ、町民すべての避難スペース確保を図る。	85	平成24年度	100 平成30年
浸水区域	ha	5年確率雨量(63mm/hr)時の浸水区域	内水氾濫対策として、水路改修・ポンプ整備を行い、浸水区域の縮小を図る。	77.3	平成24年度	64.9 平成30年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(防災力の向上)</p> <p>・南海トラフ巨大地震対策の取り組みとして避難所の新設及び耐震改修を行い、町民のより安全な避難場所を確保することにより、地震・津波に対する防災力の向上を図る。</p>	<p>■基幹事業 江尻集会所耐震備蓄倉庫事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>■基幹事業 集会所4施設耐震改修事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>■基幹事業 町民体育センター耐震改修事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>□提案事業 江尻集会所(地域創造支援事業)</p> <p>○関連事業 太郎八須地区避難所整備事業 ○関連事業 津波避難タワー整備事業</p>
<p>整備方針2(安全な生活環境の向上)</p> <p>・本町の低湿な地勢、宅地開発、大規模開発による遊水地の減少に伴い、近年の集中豪雨や台風による浸水被害対策として、既存ポンプ施設2箇所の改修を行うとともに鯛浜地区及び西高房地区の浸水被害対策としてポンプ施設を新設し、さらに水路改修では、流下能力の向上を図り、浸水被害の抜本的な解消を図る。</p>	<p>■基幹事業 町道622号線改良事業(道路)</p> <p>■基幹事業 西高房第2ポンプ場新設事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>■基幹事業 水神社ポンプ場新設事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>■基幹事業 鍋川排水機場改修事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>■基幹事業 北島排水機場改修事業(地域生活基盤施設 地域防災施設)</p> <p>□提案事業 水路改修事業(地域創造支援事業)</p>
<p>整備方針3</p>	

その他

○事業終了後の継続的なまちづくり

- ・ 各地域の自主防災組織のさらなる組織率の向上を図り、自主防災組織、地域住民、消防及び役場が合同の避難訓練を実施いたします。

○交付期間中の計画の管理について

- ・ 交付期間中は事業の円滑な推進、確実な効果発現に努め、町報やホームページを通じ、計画変更時や事業成果の迅速な公開を行います。また必要に応じて、住民や北島町都市計画審議会等の有識者の意見も確認しながら推進いたします。

北島地区(第2期)(徳島県北島町) 整備方針概要図

目標	安心・安全で快適なまちづくりの創出	代表的な 指標	防災環境の満足度 (%)	42	(H26年度)	→	50	(H30年度)
			避難場所収容人数 (%)	85	(H26年度)	→	100	(H30年度)
			浸水区域 (ha)	77.3	(H26年度)	→	64.9	(H30年度)

